



町長コラム

# ベア・パル



## 「創造的復興」とは。

以前、言及したかも知れませんが、ヨーロッパにおいて「良い街」として認められるのは①大学②楽団③スポーツチームの3つがそろって所在している所だと言われています。いわばスポーツ・文化に力を入れていて応援する民の力が、町や民の活力を引き出している町と定義できますでしょうか。

さて、東日本大震災の被災地である私達宮城県の基礎自治体は、大震災から10年を経て、復興創生期という創造的復興と地方創生を合わせた時期にいます。「いた」という表現の方が正しいでしょうか(復興庁は「復興の総仕上げ期間」として「2021年3月末」としていましたので、復興庁延長により「復興・創生期間」後となりました)。少し考えてみまして、震災からの教訓を踏まえて私たちは何を「創造」したのだろうか、と自問自答してみたいと思いました。やはり、といいますか、復興創生の本格的な取り組みはこれからなのではないかと。

と言いますのも、震災後10年間で防潮堤や避難所、集団移転など住民の命を守るインフラの復旧と整備がひと段落しました。その次に必要な事は被災地や被災者が前向きになれる「気持ちの復興」だと思います。では、「気持ち」の復興とは何を

もって成し遂げるのか。それは文化とスポーツを通してではないかと考えるのです。被災した町独自のスポーツ文化を創造する、文化事業を創生する、これらの事業を立ち上げるために資金や予算、基金を用意する、みんなが楽しみに参画することによって、一つの目標に向かい歩み、作り上げていくプロセスを経験し、地域に根付いて、後世に伝わり、文化を育んでいく。それが明日への活力になります。

利府町は、リフノスが完成して、文化事業が盛んになりました。また、ラリー大会、スポーツ流鏑馬等でモータースポーツや新しい形での伝統の上書きが町内で為されようとしています。それは東日本大震災からの創造的復興の「創造」の部分に他ならないのです。新文化創造ですから楽しいことだけではありません。時に衝突や摩擦、壁や困難を味わうこともあるかと思いますが、すべては産みの苦しみだと捉えています。

宮城県が誕生してから150周年。文化の日がある11月に改めて文化創造のプロセスに思いを馳せてみたいと思います。

ゆたか

利府町長 熊谷 大

開館  
6周年

## 再発見! tsumikiを使ってみよう!



tsumiki HP



- ◆利用料 3時間250円、1日500円 (ワンドリンク付)
- ◆設備 Wi-Fi、電源、コピー

～使い方はいろいろ～  
皆さん自由に使ってます

- ・団体やサークルの打合せ
- ・電車やバスの待ち時間
- ・起業、商品開発の相談
- ・撮影会、販売会、ワークショップ会場として

積み木で遊ぶように使い方は自由。利府町に新たな風を吹き込みながら、おかげさまでtsumikiは6周年を迎えます。

カフェとして、ワークスペースとして、町内外の誰でも気軽に利用でき、マルシェやセミナーも定期的に開催しています。最新情報はホームページまたはSNSをチェック!!

### tsumiki 6周年記念イベント開催

- ◆と き 11月19日(土) 午前10時～午後5時
- ◆内 容 ・パーティー形式の交流会(飲食あり)  
・誰でも参加OKです



詳細はこちら



問 まち・ひと・しごと創造ステーションtsumiki ☎766-9231 商工観光課シティセールス係 ☎767-2120